

笛吹市
社協会
仮設住宅
冬物衣料支援物資贈る

山梨県の笛吹市社会福祉協議会(綱島義久会長)は10月29日、四倉町にある双葉郡広野町の仮設住宅で物資支援活動を行った。

同社協では、震災直後から同市に避難する被災者を支援することも、南相馬市などの被災地に

同社協では、震災直後から同市に避難する被災者を支援することも、南相馬市などの被災地に

救援物資を送ってきた。そうした中で、いわき市に新たな仮設住宅が建設されたことを知り、広野町と協議し、笛吹市に寄せられた冬物衣料などを贈ることを決めた。

仮設住宅には、同市救援物資支援センターのメンバー、同市職員のか、滋賀県に本部を置く災害復興支援チーム、「心援隊ひわこ」のメンバーら約20人が訪れた。4ント大勢詰めかけた仮設住宅の住民

第26回いわきトルリーググラウンドで開かれた。磐城リーグ野球協会のほか、小名浜



市職員のほか、滋賀県に本部を置く災害復興支援チーム、「心援隊ひ

わこ」のメンバーら約20人が訪れた。4ント大勢詰めかけた仮設住宅の住民

ジエクトは、原爆投下直後の大島で花を咲かせたカンナを平和と希望のバトンとして、世界中に株分けしており、東日本大震災の被災地にも復興への願いを込めて各地に贈られている。

磐城+

ラック1台分の冬物衣料

のほか、米一斗やほうじ

う200食分などを持参。仮設住宅の住民はね

どとも、山梨の冬物を味わうと、大勢訪れた。

同社協の橋田尚事務局長は「笛吹に避難された方から、まだまだ冬物衣料が足りない」といった話を聞いて、今回の支援活動が実現した。少しでも避難されている方の役に立てる」と話している。

また、会場では支援活動に併せて、橋瀬保さんによるカンナ・プロジェクトも行われ、カンナの球根が配布された。同プロジェクトは、原爆投下直

思いきりバッ

(第三種郵便物認可)

いわき民報

(夕刊)

平成23年(2011年)11月9日(水曜日)

第19941号

秋の松花堂弁当
特別価格で提供

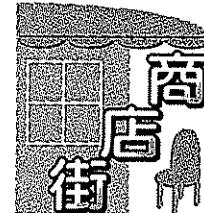
京料理さわ

19日まで

京料理さわ(小島町三丁目10の4、せきのホールそば)は「秋の味覚を

楽しむ」として、松茸

期間限定で
提供してい
る松茸十瓶
蒸し付松
花堂弁当
長する。



(まつたけ) 蒸し付
き松花堂弁当を特別価格
で提供してい
る。10月15日
までの期間限
定だったが、
好評のため11
月19日まで延
長する。

繊細な味と見た目で
舌の上で楽しんでくれ
ると評判の松茸

に、風味豊かな
蒸しとデザート
ヒーが付く献立

焼き物が10月上
り、それぞれ「
けじらん豆腐」、
(あまえび)の「
わん焼き」とな
20食の限定で、
半分の午後2時
半オーダースト
で提供していく
希望の場合も

1食2100円

